# 取扱説明書

WITHCALL BIZ™

IP300H

この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

# はじめに

**このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。**

**本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたIP無線機です。**

**ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。**

# 取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

### ご使用になる前に(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意、本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

### 取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

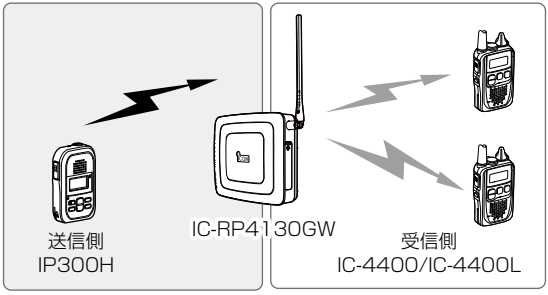
※本書に記載されている内容は、2021年4月時点の情報です。
最新の情報は、ウェブサイトでご確認ください。

# 付属品について

◎ACアダプター(BC-258)
◎ベルトクリップ(MBB-1)
◎保証書
◎USBケーブル(OPC-2480)
◎ご使用になる前に

## 本製品の概要について

◎au網(LTE)を経由した呼び出しができます。
※2021年4月現在、通話できるIP無線機は、IP300H(本製品)だけです。
◎別売品の中継装置(IC-RP4130GW)を使用すると、特定小電力トランシーバー(IC-4400/L)とも通話できます。
中継装置については、お買い上げの販売店にご相談ください。




中継システム構成図

## 登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、WITHCALLは、アイコム株式会社の登録商標です。
WITHCALL BIZ、WITHCALL BIZロゴは、アイコム株式会社の商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

# はじめに

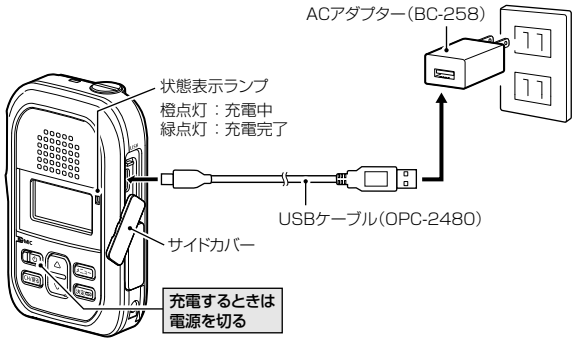
## 取り扱い上のご注意

◎本製品では、弊社指定のSIMカードを使用します。SIMカードの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
※電源を入れた状態で、SIMカードの取り付けや取りはずしをしないでください。
◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
◎磁気カードを無線機に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。

◎サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 充電について

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してからご使用ください。




※別紙の「ご注意と保守について」、27ページの注意事項をお読みになり、安全な方法で充電してください。
※別売品の充電クレードル(BC-257)を使用すると、最大4台まで連結して、同時に充電できます。(P.29、P.31)

### 充電時間と運用時間の目安

充電時間　約4.5時間（BC-258+OPC-2480使用時）
運用時間　約17.5時間
（送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用）

※ご使用になる充電機器によって、充電時間や運用時間が異なります。
※圏外やローミングを繰り返す環境でご使用になる場合、運用時間は短くなります。
※電池残量がない状態で充電した場合の時間です。

# はじめに

## 防塵/防水性能について

**ジャックキャップやサイドカバーを本製品に正しく取り付けた状態で、IP67/IP54の防塵/防水性能があります。**
**次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を保証できませんので、ご注意ください。**

※IP表記については、viページをご覧ください。

◎水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
◎雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、防水形スピーカーマイクを着脱したとき
◎海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
◎落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体に劣化が生じたとき
◎長時間、高い水圧をかけたとき
◎蛇口からの水や湯を直接当てたとき
◎「別売品の使用による防塵/防水性能について」に記載する別売品以外を使用したとき
◎充電端子の腐食による故障、または損傷
◎−10℃〜+60℃以外の環境で使用したとき
◎薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
◎本製品を分解、または改造したとき
◎無線機本体と別売品を接続するプラグ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

## 別売品の使用による防塵/防水性能について

**防水形スピーカーマイクロホン(HM-183PI)を使用したときは、IPX7の防塵/防水性能に制限されます。**

※HM-183PI以外の別売品(P.19)については、防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。

## IP表記について

**機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。**
また、保護等級を規定しない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

**【本書で記載する保護の程度について】**

IP5X（防塵形）：試験用粉塵を1m$^3$あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、機器として動作すること

IP6X（耐塵形）：試験用粉塵を1m$^3$あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の侵入がないこと

IPX4（防まつ形）：いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

IPX7（防浸形）：水深1mの静水（常温の水道水）に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として動作すること

# はじめに

## 海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。
海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。
※ジャックキャップやサイドカバーを無線機に正しく取り付けた状態で洗浄してください。
※常温の真水でやさしく洗い流してください。
※ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

**ご注意**
次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。
・無線機本体、ジャックキャップやサイドカバーが破損している場合
・落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

◎植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行、および使用してください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。

◎医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

# はじめに

## 電波法上のご注意

◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。その証として、技適マークが本製品の画面([メニュー]>インフォメーション)に表示されています。分解や改造をしないでください。

◎本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。
本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。

## 自動車運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。

◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。

◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。

◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で自動車を運転しないでください。

## 取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。一般的なご使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※本書は、Ver. 1.2.01のファームウェアを使用して説明しています。

※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

## ファームウェアの自動更新について

本製品は、自動的にファームウェアが更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。

※更新中は、本製品をご利用いただけませんのでご注意ください。（P.34）

# もくじ


取扱説明書の構成について …… i
付属品について …… i
本製品の概要について …… ii
登録商標/著作権について …… ii
取り扱い上のご注意 …… iii
充電について …… iv
防塵/防水性能について …… v
別売品の使用による防塵/防水性能について …… v
IP表記について …… vi
海水が付着したときは？ …… vii
医用電気機器近くでの取り扱いについて …… viii
電波法上のご注意 …… ix
自動車運転時のご注意 …… ix
取扱説明書の内容について …… x
ファームウェアの自動更新について …… x

**1.各部の名称と機能 —— 1**
■前面部 …… 1
■表示部 …… 2

**2.通話のしかた —— 3**

**3.その他の便利な機能 —— 7**
■録音機能 …… 7
■ロック機能 …… 9
■VOX機能 …… 9
■ワンタッチPTT機能 …… 10

**4.メニュー画面について —— 11**
■設定項目一覧 …… 11
■メニュー画面で設定を変更するには …… 13

# もくじ

■設定項目について …… 14

## 5.別売品とその使いかた―――――― 19

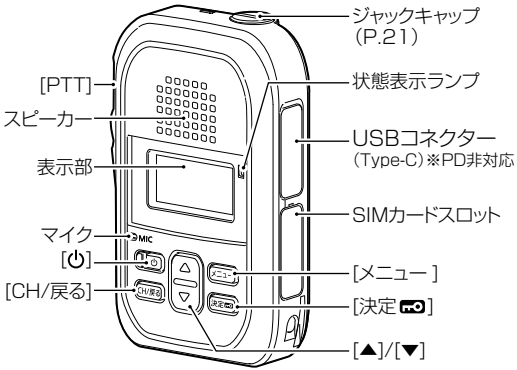
■別売品についてのご注意 …… 19
■別売品一覧 …… 19
■別売品を接続するには …… 21
■HM-183PI …… 22
■HM-186PI …… 22
■HM-186 …… 23
■OPC-2132 …… 23
■OPC-2133 …… 23
■HS-94 …… 24
■HS-95 …… 24
■HS-97 …… 25
■HS-99 …… 25
■SP-16PIBW …… 26
■EH-15/EH-15B …… 26
■充電機器をご使用になる前に …… 27
■内蔵電池(リチウムイオン電池)の特性と寿命 …… 28
■BC-257 …… 29

## 6.ご参考に―――――― 33

■日常の保守と点検について …… 33
■「F」が表示されたときは …… 34
■緊急速報機能について …… 34
■故障かな？と思ったら …… 35
■アフターサービスについて …… 37
■定格について …… 38

# 1 各部の名称と機能

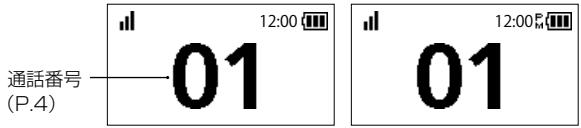
## ■前面部




| | |
|---|---|
| **[PTT]** | キーを押しているあいだ、送信状態になります。 |
| **[CH/戻る]** | 待受画面で通話番号を変更するとき、またはメニュー画面で前の画面に戻るときに使用します。 |
| **[▲]/[▼]** | 音量調整や通話番号の変更、メニュー画面内の移動に使用します。 |
| **[メニュー]** | 待受画面からメニュー画面に移行するときに使用します。 |
| **[決定]** | 短押し：メニュー画面時<br>選択した設定項目や内容を確定します。<br>長押し：待受画面時<br>ロック機能をON/OFFします。 |
| **[⏻]** | 長押し：電源のON/OFF |

## ■表示部

無線機の状態や設定している機能などが表示されます。




（24時間表示設定時）　（12時間表示設定時）

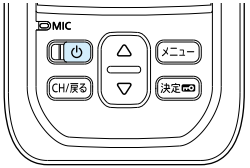
| | |
|---|---|
| | 電波の強度を3段階(目安)で表示 |
| | 点滅 ：サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合(圏外)<br>点灯 ：IP無線コントローラーに繋がっていないとき(未レジスト) |
| | 音量が最小(0)に設定されているとき(P.3) |
| | ノイズキャンセル機能設定時(P.17) |
| | 点滅：録音中/未確認録音データあり<br>点灯：録音機能設定時(P.7) |
| | ロック機能設定時(P.9) |
| VOX | VOX機能設定時(P.9) |
| 12:00 | 時刻表示機能設定時(上図参照) |
| | 電池の残量(目安)を4段階で表示 |
| | 充電中(電源ON時) |

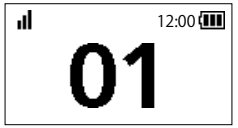
# 2 通話のしかた

## 1.電源を入れる

[⏻]を長く(約2秒)押します。

• 起動が完了すると、待受画面が表示されます。



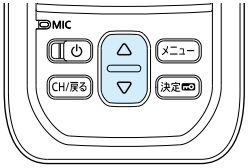

待受画面

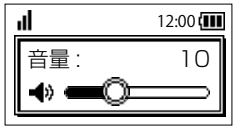
## 2.音量を調整する

[▲]/[▼]を押して、聞きやすい音量に調整します。

調整できる範囲は、「0～32」です。

※音量が最小のときは、操作音(ビープ音)や受信した音声が聞こえません。

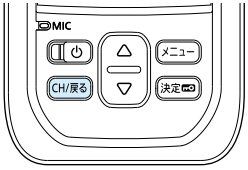


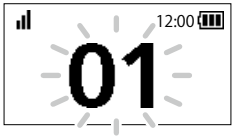




音量調整時

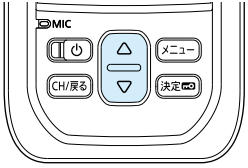
## 3.話したい相手と同じ通話番号にする

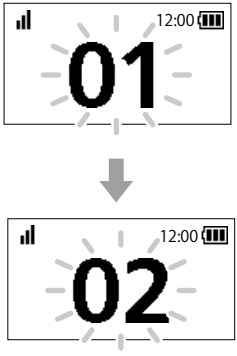
①[CH/戻る]を押します。
• 番号が点滅します。




②番号が点滅しているあいだに、[▼]/[▲]を押して、相手と同じ番号に合わせます。
※番号点滅中に[CH/戻る]を押す、または選択操作終了から約5秒後に、点滅から点灯に切り替わり、待受画面に戻ります。



## 4.呼び出しをする(送信する)

[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、状態表示ランプが赤色に点灯します。

## 5.呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、状態表示ランプが緑色に点灯します。

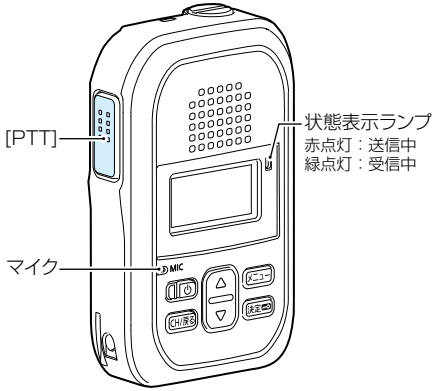
## 6.通話をつづける

送信と受信を交互に通話をつづけます。

※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、会話がスムーズに運びます。

※通話相手の音声がひずまないように、音量を調整することをおすすめます。

※スピーカーやマイクに手をかざしたり、ふさいだりすると、十分な性能を発揮できませんので、ご注意ください。



**マイクの使いかた**

マイクに向かって話すときは、口元から約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。
マイクを近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

**連続送信について**

[PTT]が押しつづけられる場合など、不用意な送信を防止するために、お買い上げの販売店でタイマーが設定されています。連続送信が設定された時間★を超えると、自動的に送信を停止しますので、通話を再開するには再度[PTT]を押してください。

★別売品の中継装置(P.20)を経由して特定小電力トランシーバーと通話する場合の連続送信時間は、「3分」を推奨します。

**操作時の確認音について**

お買い上げの販売店、または本製品のメニュー画面の設定により、キーを操作したときに確認音が鳴ります。(P.14)

**バックライトについて**

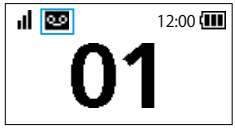
お買い上げの販売店、または本製品のメニュー画面の設定により、バックライトは下記のように動作します。(P.17)

◎常時消灯　：バックライトが点灯しません。
◎常時点灯　：常にバックライトが点灯します。
◎操作時点灯：新規着信時、または[PTT]以外を操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。(音量操作時を除く)

# 3 その他の便利な機能

## ■録音機能

受信した内容を録音できる機能です。
メニュー画面で録音機能を設定すると、表示部に「」が点灯します。(P.14)



録音機能設定時

- 終話するまでの通話を1件として録音します。
- 1件あたり最大4分まで録音できます。
  保存された録音が10件を超える、または録音の合計が4分を超えると、古いものから自動的に消去されます。
  ※本製品の録音データは、取り出せません。

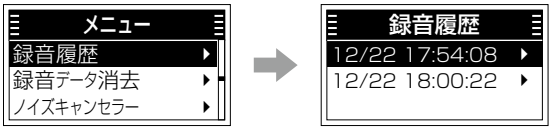
**ご参考に**

◎録音した音声の再生中に受信があった場合は、再生を停止して、受信した音声が出力されます。
◎次の条件で受信した内容は録音されません。
- 自局から通話を開始したとき
- 受信中に録音機能を有効にしたとき
- 録音した音声の再生中に受信したとき

◎極端に短い受信の場合は、録音が上書きされます。

## 録音の確認と再生のしかた

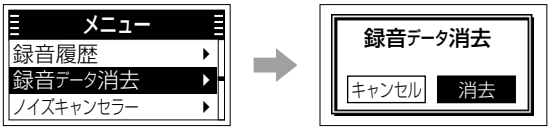
- 録音中や未確認の録音があるときは、表示部の「📼」が点滅します。
- 録音を再生するときは、メニュー画面の「録音履歴」で、確認する履歴を選択して［決定］を押します。




※録音がないときは、録音履歴を選択しても履歴は表示されません。

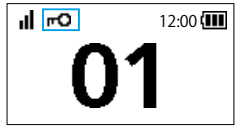
## 録音データの消去

- メニュー画面の「録音データ消去」で「消去」を選択すると、録音内容がすべて消去されます。



## ■ロック機能

通話番号が不用意に変わることを防止する機能です。
[決定]を長く(約1秒)押すと、ロック機能がONになり、表示部に「🔒」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロック解除できます。

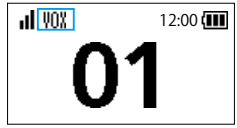


ロック機能設定時

※ロック中でも、電源ON/OFF、音量調整、PTT操作はできます。

## ■VOX機能

[PTT]を押さなくても、マイクロホンからの音声によって送受信を自動的に切り替える機能です。
メニュー画面でVOX機能を設定すると、表示部に「VOX」が点灯します。



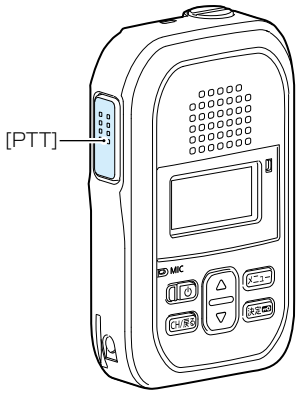
VOX機能設定時

※HS-94、HS-95、HS-97、HS-99のいずれかの別売品を接続すると、使用できます。(P.15)
※自動音量機能とは併用できません。(P.16)

## ■ワンタッチPTT機能

無線機本体の[PTT]を押すごとに、送信と受信を切り替える機能です。送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がありません。

※ご利用になる場合は、メニュー画面で設定が必要です。
（P.17）



# 4 メニュー画面について

お使いいただく用途に応じて、メニュー画面で各種機能を設定できます。(P.13)

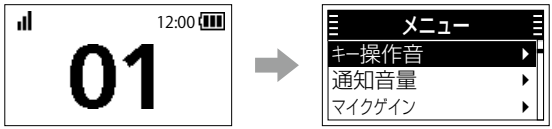
## ■設定項目一覧

| 設定項目 | 選択肢 | 参照 |
|---|---|---|
| 録音 | 無効、有効 | P.14 |
| 録音履歴 | | P.14 |
| 録音データ消去 | キャンセル、消去 | P.14 |
| キー操作音 | 無効、有効 | P.14 |
| 通知音量 | 0～32 | P.14 |
| マイクゲイン | −4dB、0dB、+4dB | P.14 |
| VOX機能 | 無効、有効 | P.15 |
| VOX感度 | 1～10 | P.15 |
| VOXディレイタイマー | 0.5～3.0(0.5刻み) | P.15 |
| 外部電源出力 | 無効、有効 | P.16 |
| イヤホン設定 | 無効、有効 | P.16 |
| 自動音量機能 | 無効、小、中、大 | P.16 |
| ノイズキャンセラー | 無効、有効 | P.17 |
| ワンタッチPTT | 無効、有効 | P.17 |
| バックライト | 常時消灯、常時点灯、操作時点灯 | P.17 |
| LCDコントラスト | 1～16 | P.17 |
| 時計表示 | 無効、24時間表示、12時間表示 | P.18 |
| ケア充電 | 無効、有効 | P.18 |

| 設定項目 | 選択肢 | 参照 |
| --- | --- | --- |
| リセット | キャンセル、リセット | P.18 |
| FIRM UP | キャンセル、Update | P.18 |
| インフォメーション | ファームバージョン、シリアル番号、バッテリー残量、バッテリー状態、LTEユニットバージョン、IMEI、電話番号、ICCID、認証番号 | P.18 |

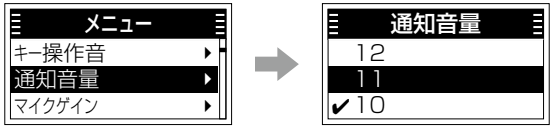
## ■メニュー画面で設定を変更するには

① 待受画面で、[メニュー]を押します。




② [▲]/[▼]押して、項目を選択します。

③ [▲]/[▼]を押して、設定内容を選択します。




※現在、設定されている選択肢に「✔」が表示されています。

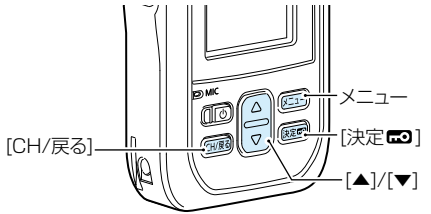
④ [決定]を押して、設定内容を確定します。

※[CH/戻る]を押すと、変更した内容を取り消して、前の画面に戻ります。

※ほかの機能も変更するときは、手順②～④の操作を繰り返します。

⑤ [CH/戻る]を押す

• メニュー画面が解除されます。



## ■設定項目について

**録音**　（初期設定：無効）

受信した通話を録音するときに設定します。(P.7)

- 無効： 使用しない
- 有効： 使用する

**録音履歴**

録音履歴が一覧で表示されます。(P.8)

※再生するときは、履歴を選択して、[決定]を押します。

**録音データ消去**

録音内容をすべて消去するときに使用します。(P.8)

**キー操作音**　（初期設定：有効）

キーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。

- 無効 ：使用しない
- 有効 ：使用する

**通知音量**　（初期設定：10）

送信時や接続時などに鳴る通知音の音量を設定します。

- 選択範囲 ：0～32

**マイクゲイン**　（初期設定：0dB）

マイクロホンの感度を設定します。

- 選択範囲 ：−4dB(低)、0dB、+4dB(高)

※周囲の雑音が大きい場所では、低めに設定し、大きめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音が小さい場所では、高めに設定し、小さめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。

## 4　メニュー画面について

■設定項目について

### VOX機能　（初期設定：無効）

[PTT]を押さなくても、マイクからの音声によって送受信を自動的に切り替える機能です。話すのをやめると、受信に切り替わります。

- 無効　：使用しない
- 有効　：使用する(「VOX」点灯)

※VOX機能を有効にした状態で、無線機本体に衝撃が加わると、送信する場合がありますが、故障ではありません。

※VOX機能が使用できる別売品は、HS-94、HS-95、HS-97、HS-99です。

### VOX感度　（初期設定：5）

感度を高く設定すると、小さな声で送信しますが、周囲の雑音でも送信しやすくなります。
感度を低く設定すると、周囲の雑音では送信しにくくなりますが、送信するには大きな声で話す必要があります。

- 選択範囲　：1(低)～10(高)

※設定値は、接続する別売品によって変更してください。

### VOXディレイタイマー　（初期設定：1.0）

VOX機能使用時に、送信状態から受信状態に切り替わるまでの復帰時間を設定します。

- 選択範囲　：0.5～3.0(0.5刻み)

**外部電源出力**　（初期設定：無効）

外部に接続する別売品★が電源を必要とする場合は、「有効」に設定します。

- 無効：　使用しない
- 有効：　使用する（DC3V）

★HS-94/HS-95/HS-97/HS-99

**イヤホン設定**　（初期設定：有効）

イヤホン（別売品）装着時に過入力を防ぐため、外部AF出力を下げる設定です。

- 無効：　出力レベルを変更しない
- 有効：　設定している音量に応じて出力レベルを下げる

※ハンドマイクなどの別売品から出力される音声も、出力レベルが下がります。
　無線機のスピーカーから出力される音声は変わりません。

**自動音量機能**　（初期設定：無効）

イヤホン（別売品）を接続したとき、周囲の騒音に合わせて、イヤホンの音量（操作音を除く）を自動で上げる機能です。

- 無効：　自動調整しない
- 小　：　自動調整幅が小さい
- 中　：　自動調整する
- 大　：　自動調整幅が大きい

※VOX機能とは併用できません。

## 4　メニュー画面について

■設定項目について

### ノイズキャンセラー　（初期設定：有効）

送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させる機能です。

- 無効：　使用しない
- 有効：　使用する

### ワンタッチPTT　（初期設定：無効）

無線機本体の[PTT]を押すごとに、送信と受信を切り替える設定です。有効にすると、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がありません。

- 無効：　使用しない
- 有効：　使用する

### バックライト　（初期設定：操作時点灯）

表示部のバックライトを設定します。

- 常時消灯　：バックライトが点灯しない
- 常時点灯　：常にバックライトが点灯する
- 操作時点灯：操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯する

### LCDコントラスト　（初期設定：8）

表示部のコントラスト(濃淡)を設定します。

- 選択範囲 ：1(薄い)～16(濃い)

### 時計表示　（初期設定：24時間表示）

表示部に表示される時刻の表示形式を設定します。

- 無効　：時刻を表示しない
- 24時間表示：24時間表示で時刻を表示する
- 12時間表示：12時間表示(AM/PM)で時刻を表示する

### ケア充電　（初期設定：無効）

バッテリーの劣化を遅らせるために、充電容量を70%に抑える機能です。充電容量が70%を下回ると、充電を再開します。

- 無効：　使用しない
- 有効：　使用する

### リセット

メニュー画面で設定した内容を初期化するときに選択します。
※「リセット」を選択すると、初期化を実行するために、本製品が再起動します。

### FIRM UP

本製品のファームウェアを手動で更新するときに選択します。
※「Update」を選択すると、ファームウェアを更新するために、本製品が再起動します。更新には約10分かかります。

### インフォメーション

本製品のバージョン情報などが表示されます。
[▲]/[▼]を押すごとに、表示される内容が切り替わります。

- 選択肢：ファームバージョン、シリアル番号、バッテリー残量、バッテリー状態、LTEユニットバージョン、IMEI、電話番号、ICCID、認証番号

# 5 別売品とその使いかた

## ■別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

## ■別売品一覧

弊社ホームページ https://www.icom.co.jp/ でも、別売品についてご覧いただけます。

**充電する**

BC-257　：充電クレードル（最大4台連結可能）
BC-228　：ACアダプター（BC-257連結時の電源）

**腰に取り付ける**

MBB-1★1　：ベルトクリップ

**スピーカーマイクロホン関係**

HM-183PI★2：防水形スピーカーマイクロホン
HM-186PI　：小型スピーカーマイクロホン
HM-186★3　：小型スピーカーマイクロホン

**マイクロホン/ヘッドセット関係**

HM-177PI　：小型イヤホンマイクロホン
HM-179PI　：イヤホンマイクロホン
HM-153★3　：イヤホンマイクロホン
HS-94★4　：イヤーフック型ヘッドセット
HS-95★4　：ネックアーム型ヘッドセット
HS-97★4　：咽喉マイクロホン
HS-99★4　：耳かけ式イヤホンマイクロホン

**変換ケーブル**

OPC-2132 ：変換ケーブル(2ピン：φ2.5/φ3.5mm)
OPC-2133 ：変換ケーブル(1ピン：φ2.5mm)

**イヤホン関係**

EH-15★5 ：イヤホン(プラグ：φ2.5mm)
※EH-15B(黒色)
SP-16PIBW ：耳かけ型イヤホン(プラグ：φ3.5mm)
SP-32★6 ：チューブ式イヤホンアダプター

**中継装置**

IC-RP4130GW：中継装置(ゲートウェイ対応)

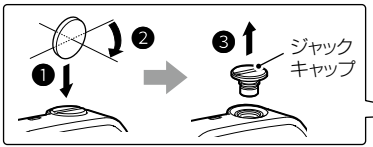
★1 ： 本製品に付属のものと同等品です。
★2 ： IPX7の防塵/防水性能があります。
※IP表記については、viページをご覧ください。
★3 ： OPC-2132と組み合わせて使用します。
★4 ： OPC-2133と組み合わせて使用します。
★5 ： HM-179PI、またはHM-153と組み合わせて使用します。
★6 ： EH-15、またはSP-16PIBWと組み合わせて使用します。

## ■別売品を接続するには

**ご注意**
必ず本製品の電源を切ってから接続してください。

① ジャックキャップを取りはずします。(❶～❸)

② ねじ込み式プラグを差し込み、完全に締めて抜けないように、回して接続します。(❹)
※斜めになった状態でねじ込み式プラグを締めないようにご注意ください。

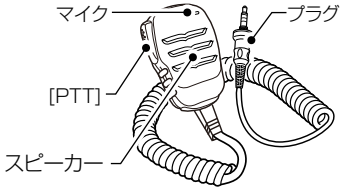



※指や爪を傷めないように、コインやドライバーなどを使用してキャップを回転させてください。

## ■HM-183PI

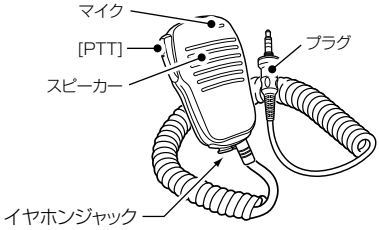
**防水形スピーカーマイクロホン**

※IPX7の防塵/防水性能に制限されます。




## ■HM-186PI

**小型スピーカーマイクロホン**

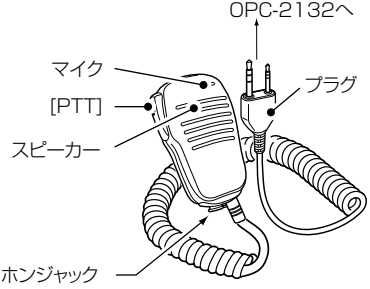



※モノラルプラグ（φ3.5mm：2ピン）が接続できます。

## ■HM-186

**小型スピーカーマイクロホン**

OPC-2132と組み合わせてご使用になれます。

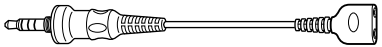



※モノラルプラグ(φ3.5mm：2ピン)が接続できます。

## ■OPC-2132

**2ピン変換ケーブル**

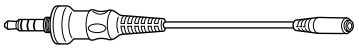
本製品に変換ケーブルを接続することで、別売品のHM-153/HM-186を使用できます。



## ■OPC-2133

**1ピン変換ケーブル**

本製品に変換ケーブルを接続することで、別売品のHS-94/HS-95/HS-97/HS-99でVOX機能(P.9)を使用できます。



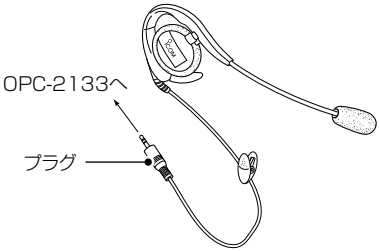
## ■HS-94

**イヤーフック型ヘッドセット**

OPC-2133と組み合わせてご使用になれます。

※外部電源出力を「有効」に設定してください。(P.16)

※VOX機能を「有効」に設定してください。(P.15)



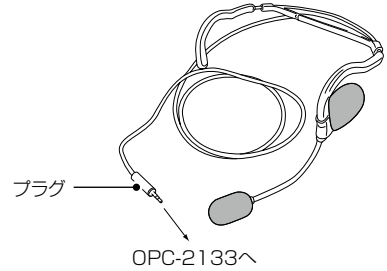

## ■HS-95

**ネックアーム型ヘッドセット**

OPC-2133と組み合わせてご使用になれます。

※外部電源出力を「有効」に設定してください。(P.16)

※VOX機能を「有効」に設定してください。(P.15)



## ■HS-97

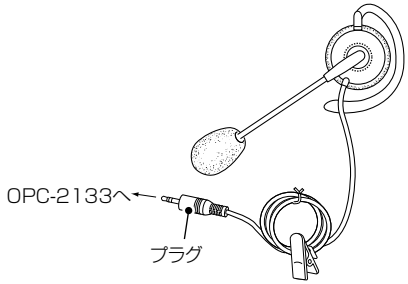
**咽喉マイクロホン**

OPC-2133と組み合わせてご使用になれます。
※外部電源出力を「有効」に設定してください。(P.16)
※VOX機能を「有効」に設定してください。(P.15)

## ■HS-99

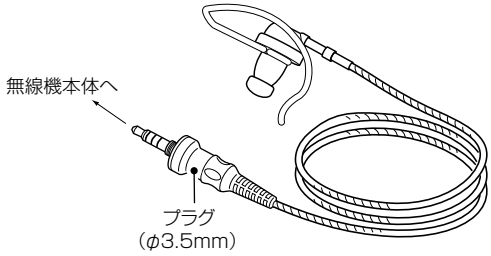
**耳かけ式イヤホンマイクロホン**

OPC-2133と組み合わせてご使用になれます。
※外部電源出力を「有効」に設定してください。(P.16)
※VOX機能を「有効」に設定してください。(P.15)



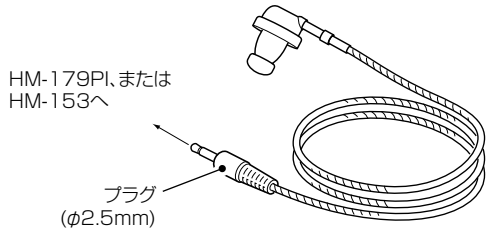
## ■SP-16PIBW

**耳かけ型イヤホン**
どちらの耳にも使用できます。




## ■EH-15/EH-15B

**イヤホン**
HM-179PI、またはHM-153と組み合わせてご使用になれます。
※OPC-2133/OPC-2132とは、組み合わせて使用できません。



## ■充電機器をご使用になる前に

**⚠危険**
◎指定以外の充電機器を使用しないでください。
◎別紙の「ご注意と保守について」を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

### 正しい充電のために

◎**充電するときは、必ず本製品の電源を切ってください。**
**電源を切らないと、充電が完了しない場合があります。**
◎お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは必ず充電してください。
◎満充電した直後に再充電しないでください。
電池の性能や寿命を低下させることがあります。

### 温度・保管について

◎極端に高温、または低温の環境下では、充電できないことがあります。
20℃～45℃の環境で充電してください。
◎満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、内蔵電池の寿命が短くなるおそれがあります。
◎充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがあるので、定期的にお手入れしてください。

## ■内蔵電池(リチウムイオン電池)の特性と寿命

◎リチウムイオン電池は消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなど電池に異常があると思われたときは、使用を中止してください。
◎使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
◎劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
◎劣化した電池を使用すると、発火や火災の原因になることがあります。
◎充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。
※お客様ご自身では、本製品の内蔵電池を交換できませんので、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

## ■BC-257

**充電クレードル**

本製品に付属のACアダプター(BC-258)とUSBケーブル(OPC-2480)を接続して使用します。(P.30)

※別売品のACアダプター(BC-228)を使用すると、最大4台まで連結して、同時に充電できます。(P.32)

◎充電中、無線機本体の状態表示ランプは橙色に点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。

※電源を入れて充電しているときは、電池マークが[⚡]になります。

◎充電が完了したあと、電池の電圧が低下すると自動的に再充電を開始します。

※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだ電池を充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電機器の故障ではありません。

※充電完了後や充電しないときは、ACアダプターをコンセントから取りはずしてください。

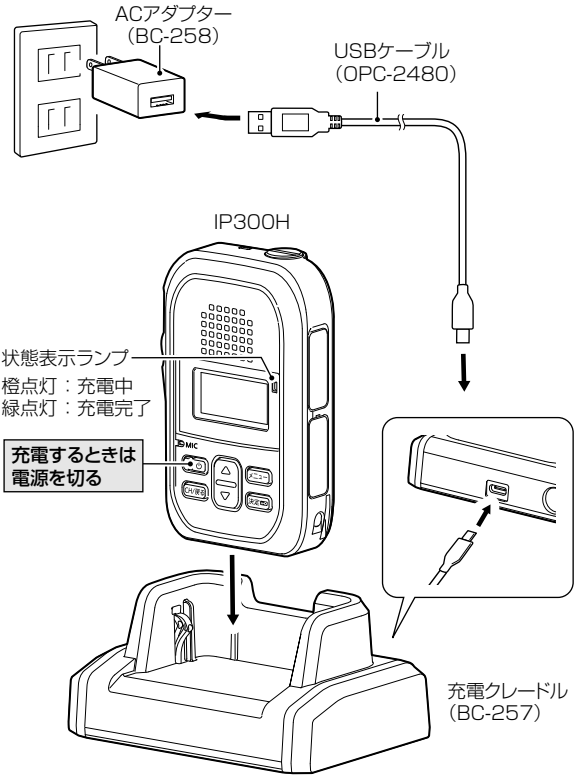
※直射日光のあたる場所や炎天下の車内など、高温になる場所での使用、放置はしないでください。

※20℃～45℃環境下での充電を推奨します。

**定格**

| | |
|---|---|
| **入力電圧** | DC5.0V±0.25V (BC-258使用時)<br>DC15V±0.75V (BC-228使用時) |
| **使用温度範囲** | 0～45℃ |
| **外形寸法** | 98.0(W)×48.6(H)×70.0(D)mm<br>(カバー装着状態) |
| **重量** | 約94g |

## 単体充電




充電時間（目安）　約4.5～5.5時間
※電池残量がない状態で充電した場合の時間です。

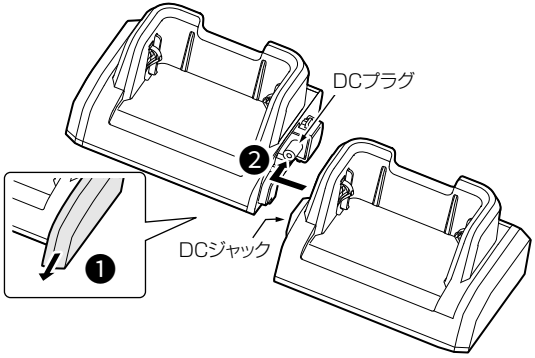
## 5 別売品とその使いかた

■BC-257

### 連結充電

① 充電クレードル右側のカバーを取りはずします。(❶)

② 右側にあるDCプラグと、もう1台の充電クレードル(左側)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(❷)



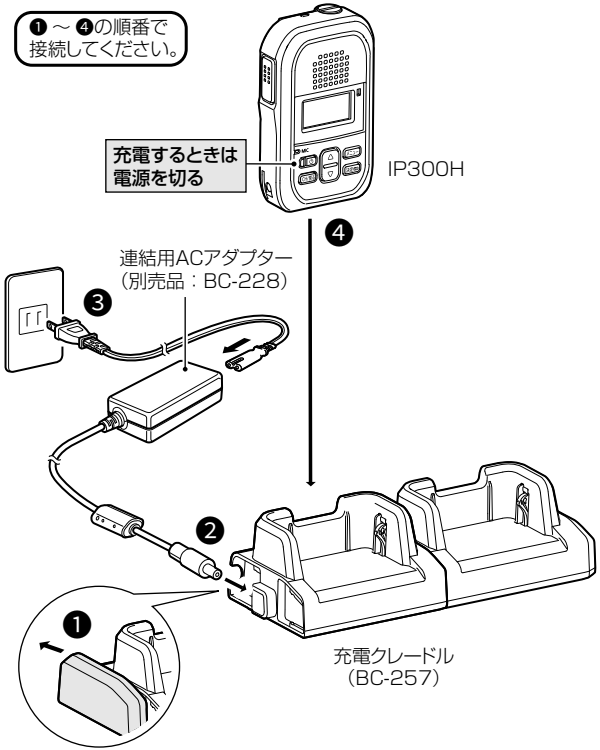

**⚠警告**

下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、故障の原因になります。

◎BC-257を連結できるのは、4台までです。
※5台以上連結して充電しないでください。

◎BC-257を複数台連結する場合、電源は必ず連結用ACアダプターBC-228をご使用ください。
※本製品に付属のACアダプター(BC-258)は、BC-257単体で充電する場合に使用できるACアダプターです。

例）BC-257を2台連結した場合




充電時間（目安）　約4時間
※電池残量がない状態で充電した場合の時間です。

# 6 ご参考に

## ■日常の保守と点検について

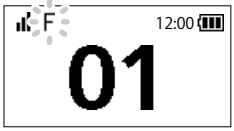
◎清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

◎無線機本体、充電端子(充電端子、および電源ジャック)にゴミやホコリが付着すると、電源が入らないことや正常に充電できないことがありますので、定期的にお手入れしてください。
※お手入れの際は、乾いたやわらかい布をお使いください。
※ACアダプターをコンセントから取りはずして、お手入れしてください。

◎使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。

## ■「F」が表示されたときは

本製品の表示部で「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。




◎ダウンロードは約10分かかります。そのまま電源を切らず、電波状況のよい環境でお待ちください。ダウンロードが完了すると、自動的に再起動します。
◎「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。
◎電池残量が十分あることを確認してください。
(残量あり)の状態になるまで充電してから、電源を入れなおし、再度ダウンロードしてください。

## ■緊急速報機能について

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害/避難情報を、警告音と画面表示で通知する機能です。
※音量が最小のときは、緊急速報の通知音は鳴りません。

## ■故障かな？と思ったら

次のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

| 現象 | 原因 | 処置 | 参照 |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない | 電池の消耗 | 充電する | P.iv |
| | 接触不良 | 充電端子を清掃する | — |
| スピーカーやイヤホンから音が聞こえない | 音量が最小に調整されている | 無線機本体の音量レベルを確認する | P.3 |
| | スピーカーやイヤホンが接続されていない | 正常に接続されているか、ケーブルが断線していないかを点検する | P.21 |
| 通話番号が切り替わらない | 操作を間違えている | [CH/戻る]を押して、番号が点滅しているあいだに[▲]/[▼]を押す | P.4 |
| | ロック機能が動作している | ロック機能を解除する | P.9 |
| 通話できない | 通話番号を間違えている | 通話番号を確認する | P.4 |
| 相手から応答がない | 圏外(点滅)になっている | 場所を移動してから通話してみる | — |
| | 未レジスト(点灯)になっている | しばらく待つ、または場所を移動する<br>LTEの回線契約、開通が完了しているかどうかを確認する | — |
| | 通話番号が一致していない | 相手側と通話番号を合わせる | P.4 |
| | 相手側が不在、または電源を切っている | 相手側の状態を確認する | — |

| 現象 | 原因 | 処置 | 参照 |
|---|---|---|---|
| 送信できない | 設定された連続送信時間を過ぎている | 通話を再開する場合は、再度[PTT]を押す | P.5 |
| 圏外(点滅)、または「接続試行中」と表示される | 電波が不安定な場所にいる | 場所を移動してみる<br>無線機の電源を入れなおす | — |
| 充電が完了しない | クレードルに正しく取り付けられていない | クレードルに正しく取り付ける | P29、P.32 |
| | クレードルにケーブルがしっかり差し込まれていない | ケーブルを差し込みなおす | P29、P.32 |
| キーを押すと、「キーロック」と表示される | ロック機能が動作している | ロック機能を解除する | P.9 |
| メニュー画面に移行できない | | | |
| VOX機能による送信ができない | VOX感度が低い値になっている | VOX感度を最適値に設定する | P.15 |
| | マイク感度が低い値になっている | マイク感度を最適値に設定する | P.14 |

## ■アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(P.35)にしたがって、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

**保証期間中は**

**お買い上げの販売店にお問い合わせください。**
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

**保証期間後は**

**お買い上げの販売店にお問い合わせください。**
修理することにより、機能を維持できる製品については、ご希望により、有償で修理させていただきます。

- **保証書について**
  保証書は、販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- **弊社製品のお問い合わせ先について**
  お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

**お問い合わせ先**
**アイコム株式会社　サポートセンター**
**0120-156-313**（フリーダイヤル）
**◆携帯電話・公衆電話からのご利用は、**
**06-6792-4949**(通話料がかかります)
**受付 (平日 9:00～17:00)**
**電子メール：**support_center@icom.co.jp
**アイコムホームページ：**https://www.icom.co.jp/

## ■定格について

| | |
|---|---|
| **使用温度範囲** | −10～+60℃ |
| **外形寸法** | 57.0(W)×96.9(H)×25.1(D)mm |
| **重量** | 約154g |
| **電源電圧** | DC3.75V |
| **低周波出力** | 1.3W以上<br>(内部スピーカー 8Ω 10%歪時)<br>0.3W以上<br>(外部スピーカー 8Ω 10%歪時) |
| **低周波負荷** | 8Ω(内部/外部スピーカー) |
| **消費電流** | 170mA (待受時)<br>1120mA (内蔵スピーカー音量最大時)<br>800mA (送信時) |
| **マイクインピーダンス** | 2.2kΩ |

定格･仕様･外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。

A7631-2J-1a
© 2021 Icom Inc. 202104

**アイコム株式会社**
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32